

審査委員(予定)



委員長 本保 芳明
国連世界観光機関
(UNWTO) 駐日事務所
代表

David Atkinson
小西美術工藝社社長

石原 義郎
株式会社航空新聞社編集統括

太下 義之
同志社大学教授

最明 仁
公益社団法人日本観光振興協会理事長

高橋 広治
日本政府観光局 (JNTO) 理事長代理

関口 和一
株式会社 MM 総研代表取締役所長

宮川 暁世
株式会社日本政策投資銀行地域調査部長

高橋 広行
一般社団法人日本旅行業協会会長

森下 晶美
東洋大学国際観光学部国際観光学科教授

涌井 雅之
東京都市大学特別教授

* 経済産業省、観光庁より
各1名就任予定

(敬称略・五十音順)

受賞のメリット

1. ツーリズム EXPO ジャパン 2024 会場内で「ジャパン・ツーリズム・アワード受賞」の告知を行うため、外部からの評価向上、および新たなビジネスパートナーの発掘につながります
2. 受賞後、3 年間は受賞のロゴを利用できるため、外部に向けての PR が出来ます
3. 主催三団体からあらゆる機会を通じて広報されるので、モチベーションの向上につながります
4. ツーリズム EXPO ジャパン 2024 ホームページにおいて受賞取組を紹介します

ジャパン・ツーリズム・アワード大賞・国土交通大臣賞一覧 (第5回から国土交通大臣賞)

第1回 (2015年度)

瀬戸内国際芸術祭実行委員会
瀬戸内国際芸術祭の
開催による
地域再生の取組



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地
写真：青地 大輔

第2回 (2016年度)

飛騨高山国際誘客協議会
官民協働での
外国人観光客の
誘致・受入



第3回 (2017年度)

三陸ホテル観洋
「震災を風化させない
ための語り部バス」による
地域交流活性化の取組



第4回 (2018年度)

一般社団法人雪国観光圏
地域連携 DMO による
新たなブランドづくり
「真白き世界に
隠された知恵に出会う」



第5回 (2019年度)

株式会社百戦錬磨
「農泊」と「世界」を
つなぐ
地域活性化サービス



第6回 (2020年度)

奄美イノベーション株式会社
集落文化 ×
「伝泊+まーぐん広場」
が創る「日常の観光化」
を国内外へ展開



第7回 (2023年度)

沿線まると株式会社
過疎高齢地域での
「沿線まるとホテル」
プロジェクト



問い合わせ先 (担当窓口)

ジャパン・ツーリズム・アワード募集事務局

TEL:03-5246-7221 E-Mail:info@jta.event-infodesk.com

受付時間 / 平日 10:00~18:00

※この冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しております

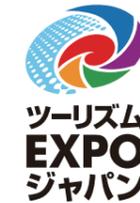


2024年度 第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」 募集要項

募集期間：4月1日～5月31日

ツーリズム EXPO ジャパン

< 旅、それは新たな価値との遭遇 >



「ツーリズム EXPO ジャパン 2024」開催概要

(開催日) 2024年9月26日(木)～9月29日(日)

(会場) 東京ビッグサイト東展示棟

(主催) 公益社団法人日本観光振興協会 (JTTA)

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)

日本政府観光局 (JNTO)



第7回「ジャパン・ツーリズム・アワード」国土交通大臣賞 沿線まると株式会社

名誉あるジャパン・ツーリズム・アワードにてこのような賞をいただき、大変光栄であると共に驚きと責任の重さも感じております。

私たちは東京の奥多摩秘境エリアかつ無人駅の中に事務所を構え、コロナ禍に誕生したとても小さな会社です。

『沿線まるとホテル』は JR 青梅線東京アドベンチャーラインを一つのホテルに見立て、“無人駅をホテルのフロントに” “空き家をホテルの客室に” “住民がホテルのキャストに” と地域全体で地域の課題を価値へ変換・提供していくプロジェクトです。アフターコロナで旅の形が変わっていく中で、地域の皆さまと共に新たなツーリズム創出に邁進してまいります。



2024年度 第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」募集要項

趣旨

世界で起こっているさまざまなパラダイムシフトに対応すべく、ツーリズムもニューノーマルに向けた変化が強く求められています。どのような困難や制約の中にあっても、旅行者・生活者の Well-being(※) を実現する。雇用機会の創出などを通じて地域の経済社会の活性化を果たしていくことはもとより、国境や地域を越えた相互理解の深化を実現し、日本のみならず世界の成長、ひいては平和の実現をけん引する。こうした「旅のチカラ」の再生と持続可能性を確保していくために、ツーリズムは進化し続けなければなりません。

そしてその実現に向けて、地域社会への貢献、安心・安全の確保、生産性の向上、環境への配慮など、ツーリズムが取り組むべき課題は多岐にわたります。

ジャパン・ツーリズム・アワードは、「旅のチカラ」の再生と持続可能性の確保につながる組織・企業・団体・個人の取組を参考となる事例として表彰し、ツーリズム EXPO ジャパンとの連携により、優れた受賞取組をモデルケースとして広く世の中に知らしめ、さらなるツーリズムの発展に貢献していくことを目的とします。

(※) Well-being とは「肉体的にも精神そして社会的にもすべてが満たされた状態」にあることを指しています(世界保健機関(WHO)の定義より)

各賞(予定)

国土交通大臣賞 1本 表彰状と副賞が授与されます	経済産業大臣賞 1本 表彰状と副賞が授与されます	観光庁長官賞 3本 表彰状と副賞が授与されます
実行委員長賞 1本 表彰状が授与されます ツーリズム EXPO ジャパンとのシナジー効果に寄与する取組を表彰します	UN Tourism 特別賞 2本 表彰状が授与されます UN Tourism は国連世界観光機関 (UNWTO) の通称	審査委員特別賞 10～15本 表彰状が授与されます
学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード 1本 表彰状が授与されます	観光を学ぶ学生代表審査委員 約20名が独自の目線で優れた取組を表彰します	入賞 15～20本程度 表彰状が授与されます

審査について

応募資料をもとに観光を始めとする各界の有識者で構成する審査委員会(審査委員につきましては裏表紙をご参照下さい)にて各賞を決定し、表彰します。

審査のポイント

- 革新性**
 - 取組自体がイノベーションを促進し、新しいビジネスモデルとして新たな市場を開拓しているか
 - 観光 DX の推進による旅行者の利便性向上や観光産業及び地域産業の生産性向上等へ貢献しているか
 - イノベーションの取組が地域経済の活性化及び地域・産業等の持続可能性の向上に新たな地平や展開をもたらすものであるか
- 事業性**
 - 観光地・観光産業の高付加価値化等の取組による「稼ぐ地域」の実現や観光産業の収益力向上等へ貢献しているか
 - 収益・財源確保が見込まれ、利用者の満足度が高い等、市場に受け入れられている取組であるか
 - 持続可能な観光の推進に向けた取組の継続性や実効性を高めるものであるか
※取扱人数、来訪者数、取扱件数、実施回数、観光消費額、経済効果等の具体的な実績、見込み、目標を明記すること
- 持続可能な観光への貢献**
 - 持続的に取組を実施していくことが可能であるか
 - 環境への配慮、歴史・文化遺産等の地域資源の活用・保全、人材育成、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティ、リスクマネジメントなど持続可能な社会の実現に貢献しているか
 - 強靱さ(レジリエンス)を備えた取組であるか
- 地域活性化への貢献**
 - 多様なステークホルダーと連携し、地域社会の発展に貢献した取組であるか

スケジュール



応募方法

ツーリズム EXPO ジャパン 2024 の公式ホームページにある応募フォームに従って取組概要を入力の上、応募ください。
A4用紙3～5枚程度にまとめた取組概要を補足する資料を添付して頂くことを強く推奨いたします。
(連続応募の場合、前回応募からの進展部分を記載してください)
画像等の添付も応募フォームよりアップロードできます。(必ずキャプションをつけて頂き何の画像が分かる様にしてください)

ツーリズム EXPO ジャパン 2024 公式ホームページ
<https://www.t-expo.jp/biz/program/award>



- *写真の添付については6点、容量30MBを最大とします
- *応募資料に添付する写真・画像等の著作物については、当該取組が受賞した際に主催者が作成する受賞取組一覧等の制作物への掲載を許諾するものとします
- *応募段階で事業開始している取組を応募条件とします
- *応募の際は応募規約を必ずご確認ください
- *入力の中でも応募内容の保存および変更ができます

応募について

ジャパン・ツーリズム・アワードは次の領域で募集を行います

国内・訪日領域	海外領域
日本国内旅行および訪日外国人旅行の拡大・活性化への取組	日本国外における旅行需要の拡大・活性化への取組 (日本からのアウトバウンドも含まれます)

応募対象

国、政府、観光局、大使館、自治体、観光協会、DMO、NPO法人、旅行会社、運輸・交通機関、宿泊、流通、食品、ICT、農林水産業・加工業、伝統工芸、みやげ品制作、販売業、TV局、新聞社、出版社、フィルム・コミッション、スポーツ・コミッション、産業観光などでツーリズムの拡大に資する事業展開をしている組織、企業、団体
観光の振興・発展に貢献した個人

応募対象となる取組

- 持続可能な観光地域づくりへの取組
- 国際相互交流促進への取組
- 国内交流拡大への取組
- アウトバウンド拡大への取組

補足事項

- 法人格の有無は問いません
- 複数の団体・企業の共同の取組も対象にします
- 連続応募も可能です
※前回の応募に対して改善・進展・変化した事を明示する資料の添付が必要で
- 同一団体・組織でも取組内容が明らかに異なる場合は複数案件の応募も可能です
- 応募段階で事業開始している取組を対象とします
- 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体、その関係者またはその他の反社会的勢力に該当しないことを前提とします

受賞者の声

- 受賞により組織内での評価が高まったことで、従業員のモチベーションが向上し、業務の質に変化があった。(自治体、地域協議会)
- 地元のTV局・新聞から取材申込を受け、TV放映・新聞に掲載された。(自治体、地域協議会)
- 次回のジャパン・ツーリズム・アワードでの連続受賞を目標に新たなアイデアを出そうとする機運が高まった。(自治体、地域協議会)
- 受賞を機にツアーバスに受賞ペナントを掛け参加者に商品の優位性をアピール出来た。また、次回の企画商品のパンフレット作成に際しアワードロゴを掲出することで商品の優位性を出す事が出来る。(観光案内業者、旅行会社)
- 他地域から講演やパネラーの依頼を受けた。(自治体、観光案内業者)
- 自治体の広報誌に取り上げられた。(地域協議会、DMO)
- 受賞フラッグを事務所等へ掲出、アワードロゴをパンフレット等に掲載したことでお客様から声をかけられる機会が増えブランディング効果があった。(宿泊施設、旅行会社)